

# 令和6年 金沢東部地区 第1回地区推進連絡会要旨

1	日時	令和6年2月24日(土)	15:00~17:00
2	場所	谷津坂会館	
3	参加者	(地域側) 自治会等地域団体関係 (支援チーム、その他行政側)	26名
		区役所	6名
		区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	7名
		学校	1名
		計	40名

## 4 意見交換要旨

(1) 開会の挨拶 (金沢東部地区社会福祉協議会 会長)

(2) 第4期金沢区地域福祉保健計画及び地区推進連絡会について (区役所)

(3) 地区別計画の中間振り返りについて (金沢東部地区社会福祉協議会 事務局長)

- ・子育て支援として、親子の広場「どんぐり」「まつぼっくり」を運営するとともに、美化活動やイベントへの中学生ボランティアの参画などを通じて、小中学生の健全育成に取り組んだ。今後の課題として、子育て支援の充実に向けて、支援対象の拡大、父親の育児参加の支援、小中学生ボランティア活動の拡大があげられる。
- ・高齢者支援として、在宅福祉サービスについて、各自治会町内会にコーディネーター制度を導入し、ニーズのマッチングを行うとともに、手引き第2版を発行し、住民への周知を行った。また、「葉っぱいエリア」を9月に開室し、悩み相談等の受付や住民同士の交流に取り組んだ。今後の課題としては、在宅福祉サービスの展開を深めるために、多岐にわたる潜在的なニーズへのアプローチ、地域の他の活動との連携強化のための施策実施、スタッフやチョイボラ要員の確保があげられる。
- ・坂が多いという地域特性を踏まえ、高齢者や子育て中の方々が生活しやすいようにするためにどうすればよいか、本日の会議でグループ討議を行いたい。

(4) グループ討議・発表

5つのグループに分かれ、高齢者支援、子育て支援をテーマにグループ討議を行った。

①高齢者支援 (A, B, Cグループ)、②子育て支援 (D, Eグループ)

(Aグループ)

- ・シニアクラブの友愛活動と社協の高齢者支援活動はほぼ共通の活動であり、情報交換の場を持つことを含め、連携を深めていくことが重要。
- ・各地域の皆が顔見知りになり、人と人との繋がりを深め網の目のような関係になっていくことが重要。

(Bグループ)

- ・人と人との繋がりをつくることで、ボランティアに繋がる。
- ・各自治会町内会の理事会に地区社協執行委員が入り、取組を周知することで自治会町内会との連携が深まるのではないかと。

(Cグループ)

- ・住民の助け合いは、趣味や近所など身近な繋がりのもと行われている。ボランティアに関する意識は低い。サービスを提供する者とサービスを受ける者、「お互いさま」意識の醸成を図る必要がある。
- ・友愛活動員は、シニアクラブから選出されているが自治会町内会との接点がない。民生委員と友愛活動員が情報交換する機会を持つことも必要ではないか。

(Dグループ)

- ・子育て支援策は、他地区と比較しても充実していると感じる。居場所づくりの取組は今後も重要。子どもからも意見を聞くことも必要である。
- ・地区社協では、チラシにQRコードを記載し、小中学生にボランティア登録を募った。様々な活動のボランティア募集に活かせるのではないか。

(Eグループ)

- ・共働きかつ子育て世帯への支援として、小学生の登校前の支援策があると良い。
- ・コロナでイベントが減り、夏休みのラジオ体操もなくなった。高齢者が公園で実施しているラジオ体操に、子どもたちが参加すると交流も生まれる。
- ・子どもが着なくなった洋服を自治会館で回収し、イベントで配付してはどうか。

5 閉会の挨拶（金沢東部地区連合町内会 会長）